

實田都子さんのうつ病労災裁判を支援する香川の会 様

連帯メッセージ

労働組合が公然と活動する職場や地域には、「人間らしく働くルール」と民主主義を発展させることができます。労働者の生活と権利を守るために、立ち上がった皆様の決意と行動力に敬意を表します。

命を守る看護・介護の現場で、そこで働くスタッフの健康が脅かされるようなことがあってはなりません。しかし、現実には、慢性的な人手不足による長時間労働や過重労働は常態化し、トップの人権意識の低さによるハラスメントが放置され、心身共に健康を損なう被害者の泣き寝入り事例は後を絶ちません。實田郁子さんの健康被害の実態を可視化し、その管理責任を問い、救済を求め闘ってこられたことは、本当に忍耐の連続だったこととお察ししております。

平常時でさえ深刻な人手不足の上に「コロナ禍」の下で、自らの命をかけて、目の前の患者の命を救おうとしている医療・介護労働者に対する「感謝」の気持ちを伝える行動が世界各地で自然発生し、今も続いています。一方で、實田郁子さんの環境は異なりますが、少ない人員体制で入所者と同僚スタッフを守るために頑張り続けてきたことは、裁判の中で立証されてきました。その實田さんの頑張りを認めようとせず、事実を捻じ曲げ認めない経営者には、医療・介護の仕事に従事する資格はありません。

経営者が、従業員の雇用や生活を盾に労働者を分断し、自らの保身だけを最優先する裁判姿勢に断固抗議すると共に、体調不良の中、これまで奮闘されてきた實田都子さん、「支援する香川の会」の皆様に、心から連帯のエールをおくります。

徳島県医労連は、労働者の団結で、法令遵守、労働基準法や就業規則違反を一掃し、ハラスメントの無い「働き続けられる職場」をつくるために、全国の仲間といっしょに頑張る決意です。

以上、連帯のメッセージとさせていただきます。

2020年6月16日
徳島県医療労働組合連合会
執行委員長 高原 啓壽

